令和８年度四街道市民大学講座　講義録

２０２６年１０月６日（火曜日）第６回講座
『地域共生社会と私の健康』～楽しみながら活躍できる場所を考える～
講師：四街道市社会福祉協議会　ふくしの総合相談窓口
社会福祉士・看護師　田中　悦子氏
「四街道市の支えあいの現状について」
ゲスト：千葉大学予防医学センター　健康まちづくり研究部門特任研究員　小林　周平氏

田中先生は、平成１２年介護保険法が開始された年より「四街道市在宅支援センター」「四街道市地域包括支援センター」にて高齢者の権利擁護事業や生活相談をケアマネージャー・社会福祉士・看護師としてご活躍されました。平成３０年から「生活支援体制整備事業」の生活支援コーディネーターを経て、令和７年から「ふくしの総合相談窓口」にてご活躍されています。

昨今の地域社会の変化を受け、身近なコミュニティの力を再評価し、人と人とが連携する姿勢が強く求められています。田中先生が対応されてこられた実際の事例紹介を元に、地域の様々な人との繋がりから自分らしく生きることができた方々の説明があり、地域に自然体で受け入れてくれる居場所があることが必要と講義いただきました。

小林先生は、市内３６地域のつながりの様子をデータ化した地域診断を行っており、市内の各地域の「つながり」の現状について説明いただきました。

新たな繋がり作りに、自分の健康維持のために、「やれそうなこと・やってみたいこと」を５～６名のグループワークで話し合いました。自分の住む地域に目を向け、繋がりを意識した地域との関わり方への変化が一歩進められる講座になりました。







